話 題

日本保健物理学会第 45 回研究発表会 実施報告

大会長 石樽 信人^{*1}

平成 24 年 6 月 16 (土) ~ 17 (日), 名古屋大学東山キャンパス, ES 総合館及び IB 電子情報館において標記研究発表会を開催した。発表会参加者数は, 学会員 220 名, 非会員 31 名, 合計 251 名であった。

開会式に引き続き小佐古会長により, 論文賞, 貢献賞, 学生研究優秀賞の表彰が行われた。表彰された方々は学会ホームページに紹介されており, そちらを参照されたい。

口頭発表は, セッション数が 20, 発表件数は 82 件であった。またポスターセッションでは 41 件の研究発表が行われた。これら一般研究発表に加え, 東京電力 (株) 福島第一原子力発電所事故に関連した「東電福島原発事故への取り組み—1 年の活動を振り返って」及び「放射

能汚染と食の安全」と題する 2 つのシンポジウムを企画した。後者は一般公開の形式とし, 市民の参加 51 名を得た。また, このテーマに対する会員の関心も高く, 約 130 名の会員が参加した。大会実行委員会としてのこれらの企画以外に, 理事会による日中韓 3 国連携プログラムとしての特別シンポジウム, 及び若手研究会による特別セッションが組まれたが, これらも共に東電福島原発事故に関連する企画であった。

ポスター発表の中から, 参加者の投票により, 4 件の優秀ポスター賞 (一般の部) 及び 1 件の優秀ポスター賞 (学生の部) を選び, 大会初日の懇親会において表彰した。受賞された方々を以下に紹介する。

一般の部: 稲垣昌代氏 (近畿大), 榎本宏子氏 (放医研), 山田辰矢氏 (京大炉), 藤淵俊王氏 (茨城県立医療大) (発表番号順)

学生の部: 横塚貴之氏 (京大炉)

一般社団法人化後の最初の研究発表会であり, 多くの関係者にとって未体験ゾーンでの作業であったが, 事前の準備, 当日の運営ともに大きなトラブルは無かったと思う。これもひとえに学会長を始めとする理事会メンバー, 学会事務局の方々, そして老・壮・青からなる実行委員会メンバーのご理解・ご努力の賜物である。心より感謝申し上げたい。そして何よりも発表会の主人公たる参加者による内容の濃い研究発表, 示唆に富む質問やコメント, そしてホットな議論が大会を大いに盛り上げた。最後に, 参加された方々全てに, 改めて深く感謝申し上げる次第である。

Nobuhito ISHIGURE; The 45th Annual Meeting of Japan Health Physics Society.

^{*1} 名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻; 愛知県名古屋市東区大幸南 1-1-20 (〒461-8673)
Graduate School of Medicine, Department of Radiological and Medical Laboratory Sciences, Nagoya University; 1-1-20 Daikouminami Higashi-ku, Nagoya, Aichi 461-8673, Japan.